

National

電子技術で未来をひらく

生産品目：無線機器 電波機器 電話機器 インターホン
電子計測機器 電卓 音声機器 映像機器
データ制御機器 教育機器 カーオーディオ



松下通信工業株式会社

本社

東京営業所

横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

TEL. (045) 531-1231 大代表

東京都港区芝公園1丁目1番2号 TEL. (03) 437-1121

おわりに

矢口 各役員の方に熱心に手伝っていただいておりますのでどうぞ御心配なく。なお信友会はまだまだ過渡期でして、会の運営などは皆さんの状況を十分に判った人、全般を掌握されている人に役員になっていただかないと非常に困難だと思っています。

野口 事務量が増えて忙しい時、例えば現在20周年行事の準備を進めています。名簿も機関誌も一緒になって仕事を臨時の委員を会長から委嘱してもらっています。皆さんみな熱心にやっていたいです。また懇親会の受付なども会員の有志に手伝ってもらっています。

司会 信友会20年の歩みについて皆さんにお話願いました。今や通信職種の信友会の名前は他職種の間でも有名になり、羨しがられる存在になってきています。益々ガッチリと固まり、設立の目的の達成を図りたいと思います。

最後に御三方からひとことずつお願いします。

す。

櫻 越中島時代、出張するといつても旅費がなかなか出ない。そのため自費で立て替えることが多かったものですから、皆で金を出し合って基金を作り、足りない人はそこら借りていくという組織を作り、一信会と呼んでおりました。その後何年かして退職し、木曜会を作つて加入した。昔から通信料というのはこういう組織を作つて運営するのが上手だったようですね。こういう伝統がたわつて今日の信友会があるように思いますね。

中原 人間年をとつてくるとだんだん記憶がうすれて参ります。そのため今日は当時の日記を持つて参加しました。それにしてもまだ記憶が残っている間にこのような機会を設けてもらい大変うれしく思います。昔なつかしい話を伺い、若返った気持ちが一杯です。

大河原 スタートから20年の歳月、通信ファミリーとして一貫した家族的なつながりがこんにちの信友会の強固な団結を築いたものと思います。また現役あつてのOB、OBあつての現役、といったお互いの気配りが、長い間続いた秘訣だろうと思っています。

司会 本日はどうも有難うございました。

通信電子機器の製造・修理

日進電子株式会社



〒338 埼玉県与野市上峰1丁目19番27号

電話 0488-55-3761(代)

信頼と創造の富士通

The 文房具。

富士通がワープロを文房具にしてみました。
紙、鉛筆、消しゴム、定規、コンパス、
印刷機、計算機、記憶装置までついている
いわば愉快的な文房具「マイ・オアシス2」。
鮮烈なヒットを飛ばす富士通の新製品です。

●〈お問い合わせ〉専用ダイヤル
……………☎(03)434-7481



新発売

1セット48万円

富士通

富士通株式会社

愉快サイズで、大きな仕事。ワープロは「マイ・オアシス」

MYOASIS2

福岡から

博多だより

中島 恪

陸自通信科幹部OB親睦の会「信友会」が創立二〇年の成人式を迎えるまでに成長してきたことは慶びに堪えないところです。このたび、杉浦幹事から何か一筆書いて欲しいとの依頼があり、一時はお断りしたものの結局引きうけざるを得ない破目になってしまい、現況を一筆したゝめました。

周囲の人も、環境も知らない九州博多の地に足を踏み入れてから、かれこれ三年有余が過ぎましたが、無事息災に過しております。

この信友会が通信に関係する人全員気軽に集まれる会合であつて欲しいことは言うまでもありませんが、私はこの三年間信友会の会合に出席できず残念に思っております。これも大学という環境のもとで、とくに2〜3月は学生の卒業・入学試験等私どもにとりまし

ては最も多忙な時期でありますので、信友会各位にお会いする機会が得られませんでした。ことをこの書面を借りて一言お詫び致します。今から想いますと、三年前、防大名誉教授、長谷川現学長の許でならば……ということでは博多の地に足を踏み入れましたが、初めはまるで遠い見知らぬ地に行く想い！ 見渡すところ知らない人ばかり……。環境も人も気候も馴れぬことばかり……。

自分の力を試すつもりで、歯を食いしばって頑張つてみました。三年経つてみて、今では心の通う、話し合える多くの友人もでき、玄海荒波の風土にも漸く馴れました。

家族ともども博多に参りますときは、多くの親戚や友人から

「博多はよかとこだよ」

一つに地震がない！ 二つには魚は新鮮でうまい！ 酒もよか、とくに焼ちゅうはよか！……私にとっては願つてもない……。

三つには女性？は親切で、やさしく、美人だよ！……と……当時は、知らない土地にゆく人の気も知らないで……何を云っているのか……とも思つておりましたが、博多に来てみて皆の云うことが本当であつたことを知りました。もう一つ、博多っ子はお祭りが好きで、祭りも多くあり……飲んで騒ぐのも好き……お陰で淋しさやストレスは吹き飛んで、のんびり楽しくやつています。

丁度この原稿を書いているときに、暑い夏の盛り、汗を流して書いていますが……いま博多名物・祇園山笠の真最中です。

博多は東京よりも南に位置し暖かいと思われませんが…… 冬は玄海灘の水りつくような冷たい風……オッ寒い……。

魚は玄海の荒波にもまれ、キュッと身のしまった魚活づくりが多いです。「しろうお」生きたまゝ酢醤油ですりこむ!! おどろ喰い!!とてもおいしいそうですが…… 私はまだにとても食べられません。……

酒は地酒…… 萬代、晴鶴…… あまり聞いた

ことがないヨ……。それよか焼ちゅう球磨かうまかばい！ 白波、

女性は、盛場・中洲のオナゴ……。オットもう紙面の都合で書く場所がない…… 仕方

がない、これは今度信友会の皆さんとお会いしたときのお楽しみに……。最後に信友会二〇周年のたいなる発展を、はるか九州の地からお祈り致します。

愛知から

拝啓ご無沙汰しましたが

森田 英郎

退職してから十七年になります。陸幕の人事担当官が「今なら退職願いのとりさが可能ですが……」全く面識のない方であつたけれどわざわざ慰留の電話を下さつたことも遠い思い出となりました。

四十では遅すぎると言われながら四十一才にして転身した時は、大きな不安と淋しさに駆られたものゝ餓死することはあるまいと自らを慰め退職金から六カ月分位の生活費を家族に残して単身名古屋に下つたわけです。

世に「華の四十年代」と言われます。しかしそれからの私の七、八年間は華ならぬ鼻水を

たらし続けた「鼻水の四十年代」であり、めざましい活躍と果進をつづける先輩や同期生、諸友の風聞をよそにその群像から逃避せざるを得なかつた。そんなさもしさをさらけだし、ともかくにも生きること必死であつた苦難の四十年代でした。

通校の学生時代、電子工学の教官佐藤（当時）は「終戦になつてから私は農業の傍ら数学の勉強に専念した。その目的はいかにして増収をはかり且つ良質のものを得るかにあつたわけです」とこのように話されたものです。しかしこのことは抜群の才能をもつ佐

藤さんにしていえることで次元の低い私には到底その真意を理解することが出来なかつた。このことから十年余を経た昭和四十五年頃私は事業の面で一大ピンチを迎え、会社の存亡も時間の問題とされていた。その剣ヶ峰の頂上に立たされたとき私の胸中をよぎつたものが前述の佐藤さんの言葉であつた。

人間はよくしたもので肚を据えてかゝれば道は自然と拓けるもの。私は迷うことなくすべてを創設の原点にもどし新しい芽を育てることを決意した。それと同時に佐藤さんの数学を私は書道におきかえて書の勉強に専念することゝした。佐藤さんが言われたのは結局は自分自身を鍛えることだつたと私なりに解釈し私もその手段としてこれを求めた。

在隊中多少の心得はあつたが一年生からスタートすることに決め、ご縁を得てよき師の入門を許された。そして余生を賭したひたすら精進をはじめた。当時は貧乏のさ中であつたから新聞の折込広告や事務用品の反古紙はすべて用材として使つた。車中は書の古典、古筆の目習いと書道理論の勉強、更には指先を筆にしての練習、紙の屑を枕にしてそのまま寝込んだことも度々、私のステテコやパン

ツのあちこちに墨のニジミがあるは今も変りない——そんな私にだんだんと「不退転」のきびしさが身についてきた。

十年の歳月は一時代を画するに足りるもの、そして時流の大きな節目を創るもの。昭和四十五年頃、必ずその時代が来ると決断して一大転換を図った時、大法螺吹きと私を笑ったのは周囲も社内も同じであった。切角染いた仕事から撤退した私を工事業界の関係者は大

馬鹿者と嘲った。現在の社会ではコンピュータとかオンラインとかは日常の生活用語であるが。

平均年齢二十六才、一〇〇名を超す社員とともに、愛知、三重、岐阜、滋賀の各県にまたがり、お客様のコンピュータをまもっているのが現在の私の会社です。そして日本電気の「C&C」の未来に向って頑張っています。「NEC」とコンピュータは私達にとって太

陽に次ぐ存在であり、感謝して一生懸命働いております。

私も何時の日か「日展」を陥落させたいとの夢を抱いております。夢は夢として私は筆硯に支えられて今日を得たことを肝に銘じ、更に精進をつづけたいと希望にもえております。

東名通信株式会社（代表取締役）
日本書道美術館展（依頼作家）

京都から

釣りと麻雀と人生

松村 謙 造

私も本年で満六十年を迎える事となりました。気持だけは青年のつもりでおりますが、最近になって、好きな磯釣などで船からの磯上りに不安を感じるとともに、何とはなしに思いついた行動にブレーキがかかり出しました。どうやら人並みにシルバーエイジに入ってきたのかとわびしくなったり、又じれった

くなつたりの昨今です。

さて表題の件ですが、本誌に適した題としては「ゴルフと釣り」が良いと思いますが、残念ながら十五年前にゴルフはやらないと決めてしまつておりますので、無粋な表題となりました。

私が麻雀を習つたのは終戦の年でした。以

来四十年、最近はやりませんが、若い時は下手の何とやらで、負けん気だけがたよりでガムシヤラに授業料を払い続けておりました。信友のメンバーの方々にも相当の奉仕をしてきたつもりです。

釣りを始めたのも終戦の年からですが、この方は熱が入り出したのが四十歳以降で、今年で約二十年になります。

ゴルフ、麻雀、釣り、共にその人の性格、能力をよく表わしているといわれますが、今から考えると実にそのとおりで、私はいずれに対しても我流を通し、謙虚に先輩の教えを受けるという心がけが殆どありませんでした。

人からみれば、あの馬鹿が何をしているんだ……の行動を得々として行なつていたのです。私の釣りは、海釣りでは若狭湾一帯での「チヌ」（くろだい）つりを、また陸釣りでは暖流での「アマゴ」「イワナ」つりを主としております。始めた当初は新聞等の釣り情報

が相関している点と思います。「うで」には勿論情報収集能力が重要な要素でありましょ

る「時合」があります。この「時合」に如何に手ばやく確実に釣果を物にするかで勝負はまします。この「時合」に釣り糸をからめたり、釣り鉤をのみこまれたり、また取り込み失敗してしまうと、もうツキはにげてしまします。今頃になつて気づいてもおそいのですが、どうも人生もこれと同じであつたなあとつくづく思うものです。

終りに老化（ぼけ）の進行と刺激の効用に ついてですが、三菱電機停年退職後二年程は現在の会社で非常勤顧問とかでぶらぶらしておりました。この時の釣りの成果は、その回数に比してさっぱりで、大形チヌを一枚も物にすることができませんでした。ところが今年一月よりラインに入り技術部長を引き受けることとなり、京都―伊丹間（往復二〇〇km）を毎日自動車通勤を始めました。好きな釣

りも休日に行くのがやつとで回数も激減しまし

たが、これに反して釣果は本年五月より三回の釣りに行きてすでに大形チヌ七枚の成果をあげております。

今に思いますと、ぶらぶらしておつた二年間は急速に頭脳体力の老化が進行していたのが、仕事のお陰でその進行が止まると共に、適度な刺激で運動能力、思考力が一時上り回復したのではなからうかと思う節があります。勿論精神的要素も大きく作用しているものと思ひますが。

くだらない記事を長々と書きましたが、関西で一度「チヌ釣り」と、また「アナゴ釣り」をとお考えの方がいらっしゃたらぜひ御連絡下さい。日本海方面の釣場、京都・滋賀・福井方面の溪流釣場についての各種情報は一応そろつてゐるつもりです。

終りに私の目下の釣りの目標はアラスカでのキングサーモン釣りで、このため英会話の堪能な同友をさがしておりますのでよろしく。

なお停年の前後に、もう「エレキ」の仕事は止めたと言ひしておりましたが、「雀なん」とやら」のとおり止めることはできませんでしたので、この紙面をお借りして取消させて頂きます。

秋田から

郷里に帰った浦島太郎

大辻 隆 三

三十二年ぶりで生れ故郷に落ちつくこととなり、いざ生活を始めてみると、何から何まで昔と変っていて、戸惑いの連続である。

秋田県は横手盆地のほぼ中央、稲作地帯のどまんなか——ここが私の故郷である。一面に広がる水田地帯の風物は、一見今も昔と変わるところがない。しかし、子供のころ見馴れた土の香漂う農村特有の雰囲気は一向にみあたらない。田植えや稲刈りは機械がやってくれるし、畦や路端の雑草を刈るにも鎌など使うこともない。炎天下に、菅笠をかぶって痛む腰をさすりながら、泥田の中を這いずり廻った「田の草取り」も、今では除草剤の撒布で簡単に片付けられている。

変ったのは農作業だけではない。花札やサイコロ賭博の盛んだったこの地方も、今では

若者達の遊びも都会風に変ってきているらしい。玄関わきの土間に、草刈機と並んで、フルセットのゴルフバッグが、涼し気に鎮座ましましているのを見かけることがある。また、十軒余も離れたY市郊外のバチンコ屋に、自家用車で日参する若者も少なくないし、なかには、昼日中から街の雀荘に入り浸っている者もいるという。

子供の頃、汽車に乗るにも二時間近くの道のりをテくるしか方法のなかったわが郷土も随分と変ったものである。

帰郷生活を始めて間もないころ、一夜、麻雀に誘われた。誘ってくれた人は、近くに住む中学校教師のT先生である。夕方、T先生からの電話で「今晚八時から一丁やるからオレの家に来ないか。メンバーは源太と庄左エ

門である」ということだった。

源太と庄左エ門なら子供のころからよく知っている仲だ。帰郷後まだ会っていないが、源太は私と小学校同級、庄左エ門は確か二年後輩の筈である。わざわざ私の昔馴染みをメンバーに選んでくれたのであろう。T先生の細かい心づかいに感謝しながら、指定時刻より少し早目にT先生の宅を訪ねた。メンバーの二人はまだ来ていない。座敷に上り込んで、T先生と雑談を交わすことしばし、玄関の方で人の気配がした。やがて、T夫人の案内で部屋に入ってきたのは三十才前後の若者が二人——メンバーの源太と庄左エ門だという。私が考えていた源太でも庄左エ門でもない。紹介されたが、挨拶するのも忘れて呆然と二人の顔を見つめる。私の変な態度に、顔を見合せて突立っている二人。われわれの出会いを、腑に落ちない面持ちで眺めているT夫婦。一瞬、異様な気まずさが部屋の中に漂う。

と、突然周囲の静けさを突き破る笑い声——大柄のT先生が、腹をかかえて笑い出したのである。建てつけの余りよくない戸障子が、文字どおり揺れ動くような笑い声であった。「ソウカ。大辻さんの知っている源太と

庄左というのは、この人達の親爺さん達のことだったのか……」なおも耐えられないという風にT先生は笑いこけるのである。

素封家の跡取りは、代々襲名するのがこの土地の習わしであることを、私はつい忘れていたのである。二人の若者達の顔の上に、私の知っている親爺さん達の顔が、三十二年の時間をとび超えて、大きくオーヴァラップする。同時に、私の胸の中にオカシさが急にこみ上げて来た。明るさをとりもどした部屋の中に、四人の笑い声がいつまでも続いた。

確かに郷里は変った。変ったと思う私の心の中には、いまだに三十二年前のイメージが、現実とは無関係に生きつづけているのである。そこに喜劇があり、悲劇が生まれる。

故郷に帰った浦島太郎よろしく、戸惑いの日々はまだ当分続くことであろう。

— 58・7・18 —



愛媛から

私の生き方

佐々木 次郎

日本人の寿命は急速に伸び、高齢化社会が作られつつあります。そのグループに加わる年になつた私は、これからの生き方に思いをはせる時がやつてまいりました。

高齢化社会は、若者達に、経済的に、精神的に、負担をかけていないだろうか、若い人もいずれば年をとることになるのであるが、今老人の身になつて理解を深めてもらうことはむずかしく、ややもすれば邪魔もの扱いにされやすい。国民皆保険の実施、年金の充実化をはかることによつて、ある程度経済的には、若い人に負担をかけなくて済むようになるが、形のうえのみにくさ、日頃のしぐさを含め「この老人が」というような目で見られるけ者扱いになりかねないのである。

そこで私は、年をとるほど価値を高める樹木のような存在になれないものであろうかと

考える。庭木や盆栽の老木が長い年月の間の風雪や、人工的な加工に耐え抜いて、威厳があり気品を持ち、歴史を語り、人に愛され、鑑賞されるように、老いのみにくさを内部から自然にあらわれる教養と知性と長い人生経験の重みによつてカバーし、若い者に、また多くの人に愛され、したしまれる老人になりたいと心がけ毎日を送らなければならないと考える。

そこで愛される老人になるためには、常日頃より心から素直にありがとうといえる人になるよう心がけ、いつも身辺はつつましく、またきれいにし、人の意見にも耳をかたむけ、仲間を一人でも多く作るよう努力を払うようにしたいものである。

以上のことに心掛けて毎日を送って居りますが、なおなお努力のいることです。

北海道から

北の便り

渡辺 修

私は退官後通信とは無縁の病院事務長という仕事をしており、五十三年十二月札幌に引揚げてからも、その関係で相変らず病院勤めをしております。仕事の関係で会員の皆様とは縁が薄く心ならずも疎遠になり、申し訳けなく思っております。

戦前時代と異なり現在は大部分の会員の皆様が北海道勤務を経験しておりますので、昔程には北海道を僻遠辺境の地とお考えの方はおられないと思います。が北海道の近況について若干の御報告をさせていただこうと思ひ筆を執りました。

今年の北海道は昭和十六年（私の任官の年で凶作の年でした）を思わせる冷夏に見舞われております。四月から五月上旬にかけては異常高温で桜が一週間から十日も早く咲きましたが、その後は本州の梅雨の様な天候で降

るでもなく、晴れるでもなく、どんよりした

曇りの日が続き極端に日照が不足し、七月末現在で稲の生育は十日から二週間も遅れたと云うこと、また冬の飼料不足を心配して乳牛を早々と手放す酪農家も始まる等冷害の心配が極めて大きくなっております。

また、北炭夕張の廃山については皆様も御承知のところですが、黒ダイヤと持て囃された戦後の復興期が夢の様です。最盛時六万人以上の人口のありました歌志内市は、現在人口二万人足らずの日本一のミニ市になっております。屯田兵による北海道の歴史に見られるように、官依存体質が余りにも表面に出過ると政治不信を口にするのは道民の一人として残念ですが、政府・与党にも長期展望に欠けた選挙目当ての場合当りの発言も多く、撤

退の時機が遅きに失した憾みもあり、政治不信を助長しかねない危険を感じます。

北海道は寒冷の地だから暖房期間が長い、また従業員の燃料手当も余分にかかるのが企業にとってマイナスの立地条件でした。が近年になって企業活動には不利とされる冷涼の気候、低温の風土を大いに活用しようという企業も出始めております。

旭化成工業は五十一年に、白老町に抗生物質の発酵工場の建設を決めました。発酵化学工業では工程中に雑菌が混入するのをいちはん恐れる。このため室温を低く保ち設備を絶えず冷却することが重要な課題となる。これ等の条件にびつたりの地として選ばれた訳です。他にも北欧の医薬品、工業用酵素のメーカーが石狩湾新港地区に、日立が千歳臨空工業団地にLSI工場を、苫小牧にはいすゞ自動車エンジン工場の進出と、徐々にではあります民間の活力が導入されて来ました。

発想を転換して大いに北海道の『低温の魅力』を見直して、会員の皆様の会社も北海道に進出される日が来る日を楽しみにして筆を置きます。

皆様の御健康を北から御祈り申し上げます。

鳥取から

僻地雑感

山崎 定雄

都落ちから四年、一抹の淋しさを心の片隅に残し乍らも漸く片田舎での生活が何となく板に付いてきたというのが実感です。

当所は、鳥取県の西端米子市から東へ二〇キロ、建武の忠臣名和長年公縁の地で県下では桜花の名所として知られています。南に中国地方最高峰の大山（標高一七一米）を望み北は眼下に日本海が開け遠く島根半島を俯瞰する景勝に恵まれ、春から夏・秋にかけてはまことに住み心地満点ですが、一度冬將軍の到来期を迎えると様相は全く一変し、「疾風怒濤」の表現そのまゝの日本海から吹き上げる凄しい吹雪、大山下しの肌に突き刺さるような寒風の中にあつては、只々春の到来を待つ忍の一字です。

なだらかな丘陵地を約五百米下ったところに建武の昔後醍醐帝を隠岐島からお迎えした

と云われる小漁港があり、ここから水揚げされる新鮮な魚介類は四期を通じ食膳を賑わしてくれます。また、近在に山菜類も豊富で約五〇坪余の家庭菜園では趣味と実益を兼ね多種少量、時期折々の蔬菜を栽培して概ね八〇%を自給自足し、忘れていた季節感といったものを食餌を通して直に肌を感じています。

山陰の味覚は松葉ガニに代表されます。最近は乱獲による品不足のため高嶺の花の如く云われていますが、地元では時には規格外のものがきわめて廉価で入手出来ることもあつて、吹雪の夜景を窓外に眺めながらカニ鍋で一杯というのも亦格別です。珍らしいものと云えば、盛夏期に獲れる通称「ワタリガニ」と呼ばれるハサミ脚の発達した手の平大のカニですが、不思議なことにハサミ脚だけを切り離して売られています。聞くところによれば、

捕獲の際、小型のものはハサミ脚だけをもぎとつて本体は海に投げかえしてやると成長後には立派に生え育っているとのこと。これがまた頗る美味で所変れば変つたものにも出合うものと一人で感心しています。

勤務は、隣県松江市の自賠責松江調査事務所まで約四十七キロの行程を一時間三〇分費して汽車通勤していますが、盆・正月等の特殊な時期を除いては概ね四人掛けの座席を一人で占有できる状態です。で東京の通勤ラッシュの苦役はありません。

松江市は島根県の県庁所在地で人口約十二万、安道湖を背景とした美しい城下町ですが山陰では屈指の大都市（？）で、一応は毎日都会的な雰囲気も味わっているということになります。また、当事務所は総勢十一名の極めて小規模な組織ですが四名の女子事務員を除きすべて行管・警察の出身者で同病相憐む集いという面もあつて結構気楽に勤務しています。

拙文を省みず断片的に近況をご報告いたしました。が、改めて平素の御無沙汰を深謝し、併せて今後とも相変らぬ御指導、御厚誼をお願い申し上げます。

鹿兒島から

畢生の棲家造り

田中 稲雄

五十七年九月、故郷に引揚げてからの十カ月間は専ら家の建築が仕事だった。一部屋のアパートに最小限の荷を解き終ると早速行動を開始した。

一、基礎設計（平面図と外観図）

五十七年の初め頃から家内は専ら平面図と取組み始めた。方眼紙と鉛筆とゴム消しで、物も言わずに作業をつづけ、途中で知合いの設計屋に知恵を借り、正面からの外観図を書いて貰い、これを持って引揚げた。

二、設計屋の選定

大抵の建築業者は設計も持っている。何処から聞きつけたか自薦他薦の業者が数軒訪れ始めた。それから熟考して設計と建築を分離することに決めた。設計屋に支払う金は一寸勿体ないようだが、素人には一番安全な方法

だろう。何分不況の底で子飼いの大工を半数づつ失業保険で養っている状況らしい。十月二日、A設計事務所設計と監理を依頼する。帰ってから四十日かゝった事になる。

三、建築業者の選定（入札）

個人住宅の入札などという事は夢にも考えていなかったが、この田舎でも当節は入札が当たり前らしい。

十二月六日に入札説明会が設計事務所で行われ、七日指いて十三日になると七軒の業者が入札替り立ち替り封筒を持って来る。どれもこれも予算を遙かにオーバーしている。家内と顔を見合わせ吐息を吐く。唯一軒だけ予算に見合う見積を発見した時は思わず歓声が出た。設計屋と相談して直ぐB業者に電話し

て即座に契約を終了。

四、建築作業

十二月十五日地鎮祭。用地にシメ縄を張り施主、設計屋、施工者、親族が居並びおはらいを行う。五十七年はそのまゝ暮れた。明けて一月十日より外構や造成工事が始まる。宅地一八〇坪農地六〇坪をブロックで四角に囲み、内側に土を入れる作業である。続いてコンクリートの基礎造り。これまでに五十日近くの日数がかゝり、三月一日に上棟式。組上げられた棟の上に立つて紅白の餅と三六五の貨幣を撒くのだが、何処からともなく集った小学生や母親達が競い合つて拾う。爾来日を逐うて家の形が整つて行くのだが、季節は桜もつゞきもさつきも咲き終り、完工予定日（五月二五日）も過ぎ去り、何時しか梅雨に入ってしまった。

五、入居

六月五日、設計屋とともに最終検査を行い、初めて鍵を貰う。その後指摘した手直し工事を進めて六月十七日引越しを行った。この半年間、一日の工事が終る頃を見計つて現場に通うのが、私共の仕事だったわけである。

六 所 見

- (一) 設計と施工は分離してよかった。
- (二) 設計は徹底的に細部まで記載すること。書いてない事は必ず金を要求される。
- (三) 誰かが主体性をとること。そうでないと夫婦（親子）の間で喧嘩が絶えないし、設計屋や施工者との間に混乱を持ち込む。

米 国 から

ニューヨークから 信友会の飛躍発展を寿ぐ

月野木 久

信友会創立二十周年、誠に御同慶の至りです。五十六年二月の「信友」第一号にヘアメリカ支部だよりを寄稿してからちょうど3年になります。月日の経つのは早いものですね。退官・渡米以来アツという間に4年の歳月が流れ去りました。

さて五十七年一月から24回にわたり「通信電子」誌に（紐育・ニューヨーク・New York）——合衆国百話——と題して滞米雑感

を書き綴つてきましたのでお読みくださった方もあろうかと思いますが、今回はこの4年間における生活の一端を、数字上の記録を拾いながら御披露させていただきます。

① 仕事での出張や休暇などでよく旅行をしますが、全米50州のうち今までに訪れた州は、首府ワシントンのほか、ちょうど半分の25州。大会社のビジネスマン、上級公務

(四) 工事に関する注文は必ず設計を通じて。
(五) 折柄業界不振の真只中で、時期としては一番良かったらしい。またよい設計屋と施工者に巡り合せて、移り住んで後も何等の不満がない。この家で最後の人生を過すのにこれもまた大きな恵みだったのではなからうか。

員、高級軍人などは別として、平凡なアメリカ市民にとってはビックリするような数のようです。

② 外国へ行くこともあります。お隣のカナダ、メキシコへそれぞれ数回、バハマ、ベルギー、オランダ、ドイツ、フランス、スイス、オーストリア、台湾など全部で10カ国を訪れました。お金と暇があつたら、まだまだ行つてみたいところは多いのですが。

③ 故国日本へは毎年1回（幸いいつも信友会総会の時期に）出張しますので、休暇での帰省を含め計5回帰国しています。いつ帰つても皆様の暖かい歓迎をいただき、感謝しております。

④ ①②④を合わせて飛行距離約30万Km、地球を7回半まわった勘定になります。電波ならたった1秒の距離ですが、旅客機に乗っていた時間はおよそ600時間といったところでしょう。

⑤ 地上においては、昨年買い替えたので今

2台目の車ですがトータル走行距離約10万Km、地球の周りを2回半走ったわけです。日本にいたとき昭和三十九年から五十五年までの16年間で25万Kmしか走っていないのに比べると、やはり結構走り回っていますね。

⑥ オフィスと出張先を合わせて勤務時間は約1万時間に達します。余談ですが、自宅からオフィスまでの通勤距離は昨年三月までは片道20Kmで約40分、四月からオフィスが都心部から郊外に移ったので片道65Kmになりましたがやはり40分です。ラッシュと反対方向になり時速100Kmでスイスイというわけ。

⑦ 日本から、あるいは米国内からの来訪者（会社関係、防衛庁関係、親類・知人、それらの紹介者などでアメリカ人を含みます）が時々わが家に泊られますが、今までに60人（うち女性18人）をお迎えし、その滞在日数は延べ400日になります。日本に住んでいたら考えられない数ですね。皆さんわが家の日本食をたいへん喜んでくださいます。

局と数多いTV放送で新旧作の映画番組が多いので、良い映画はよく録画しますが、今までに録ったビデオ・テープが100本になりました。（1本は2、4、又は6時間）

⑭ アメリカのもの、日本のものを問わず、本はよく買います。仕事用の本は別として4年間で買った本が妻の分を含め約600冊になりました。アメリカの本は紙質、印刷、装丁とも素晴らしい物が多いので、良い財産になりそうです。

数の上からこの4年間でふりかえってみましたが、信友会創立20周年というこの時機、私の滞米生活にもどうやら一段階を画するような数字がいくつか見えるようです。さらにマシネリ化を戒めつつ仕事と生活の充実向上を図り、あと何年こちらにいられるかわかりませんが、信友会創立25周年、35周年とその発展とともに、私の生活記録も伸ばしてゆきたいものと考えています。

信友会のみならずの飛躍発展と、会友皆様の御健康御繁栄をはるか太平洋を距てた1万Kmの彼方から念じてやみません。

⑧ 結婚式を2つ挙げさせました。息子の結婚と娘の嫁入りです。昨年息子のところに初孫ができたので、私の一族は目下のごとろ妻、伴、嫁、娘、婿、孫、それぞれ1で妻を除き日本にいますが孫以外は皆2回ほど遊びに来ました。特に息子は仕事（JALジャンボ機塔乗員）で時々飛んできます。昔を思えば随分近くなりましたね、東京からたった12時間ですから。

⑨ ニューヨークの観光名所、エンパイア・ステート・ビル、自由の女神、それに国連本部は旅行者がどうしても行ってみたい所ということでお客様をお連れしてエンパイア・ステート・ビルの120階まで上ったり、フェリー・ボートで自由の女神に渡ったり、国連の見学コースでガイド嬢の説明を聞いたりすること20回。これらの所へ行ったことがないというニューヨーク市民もたくさんいるのに、という感じです。

⑩ 4年前に渡米したとき66kgだった体重が3年間で72kgまで増えてしまい、これは大変といっさいの肉類、牛乳、乳製品、卵

菓子、清涼飲料、その他脂肪分や糖分のありそうな食品を断ち、老人向きの枯れた食事に変えてみました。野菜、豆製品（豆腐、もやし、納豆など）、魚介類、海藻、といった自然健康食が効を奏し62kgまで減ってズボンがユルユル。悩みのじんま疹もひつこんで大成功でした。

⑪ 飲物もコーヒー、コーラはやめて麦茶やウーロン茶に、牛乳は豆乳に変えました。アルコール類はやめられず、日本酒やビールは避けてウイスキーの水割り一本槍ですが、外で呑まないせいかわが家のウイスキー消費量は年間100本、今までに400本ということになります。（来客が多いから、というのは弁解に聞かえますか？）

⑫ 平日6ドル、週末8ドルと料金の安いパブリック・コースでのゴルフが、約150回。（自宅から車で20分以内のところに10箇所あります。）スコアは、ハーフ最高39、最低55、平均48ないし49といったところです。

⑬ VHF7局、UHF8局、有線・有料16

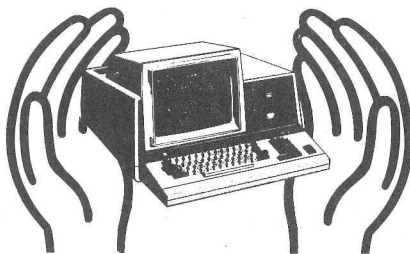
各種アンテナの設計・製作建設

電気興業株式会社

取締役社長 石原 治

東京都千代田区丸の内三丁目3番1号
電話 (03)216-1671

INSのアパレイタス
からコンピューター
のハード&ソフトまで



NTK 日本通信建設(株)

取締役社長 橋本 真澄

本店/東京都港区高輪3-23-14 TEL03(447)2111(大代)
支店/東京・大阪・長野・浦和・横浜・秋田・宇都宮・福岡

比国から

マニラで元気にやっています

菅 收 治

59年は信友会創立20周年との事、誠に意義深く、マニラより御祝い申し上げるとともに、益々の御発展をお祈りいたします。

小生が46年から関係しておりましたフィリピン共和国ルソン島における洪水予警報建設プロジェクトは昨47年春竣工し、目下民生の安定と経済効果に有効に運用されております。今度はルソン島内にある4つのダムへの運用に必要な、水文観測、放流警報、及びダムコントロール通信施設の建設プロジェクトのコンサルタントとして、58年4月11日以来マニラに来ております。8月までは、基本計画の作成、各施設建設候補地の現地調査、電波伝搬試験、ミラーテスト等を行い、その後、詳細設計、仕様書の作成等を当地で行い、59年6月頃、いったん帰国する予定です。

丁度現地調査の時期は、フィリピンの乾期から雨期への転換期でしたが、例年になく雨期入りが遅く、毎日35度を越す炎天下の作業で、若い日本の技術者も音をあげていました。今度の調査対象ダムは、殆ど第二次大戦末期の激戦地や最後の拠点だった所で、カガヤシ平野入口の峡谷にあるマガットダムの調査は、雨量観測局候補地が山下將軍投降の地という記念碑のある部落でした。

この部落の近くにある駐屯部隊(大隊級)に行き治安状況を尋ねましたら、この付近は良いがこの奥は対日感情も悪く、又日本軍の財宝探しとみられるので、立ち入らない方がよいといわれました。土地の老人達は大部分日本語も話しました。食糧も水も無く炎天空襲下を転戦された先輩

の苦勞を偲びながら調査をしてきました。

このプロジェクトの通信関連では、テレメータ、放流警報、VHF無線通信、各種周波数帯による無線多重通信、O/H多重通信、電話交換、ファクシミリ等々の組合せがあります。だんだん体力気力特に知能指数の劣化している老兵には、なかなかの難問題がありますが、幸いにして自衛隊でいろいろ御指導を頂きました知識と気力・体力を基に、また現地の人達との友好関係、関係する日本技術者との協力関係が良好でありますので、なんとか責任を果たしたいと思っております。

日本から僅か4時間で来られます。お仕事や慰霊、観光その他でフィリピンにおいてにられる方がおいでしたら、時間の許す限り、空港への出迎え、現地の御案内もできると思いますので、御一報いただければ幸いです。

3週間連続の現地調査から帰ったばかりでまともありませんが、一筆近況報告まで。

SHUJI SUGA

TROPICANA APARTMENT HOTEL
1630 L M GUERRERO ST.

MALABATE MANILA PHILIPPINES

情報化時代に活躍する 山洋の電源装置。

- 1) 予備ディーゼル発電装置
5～500kVA
- 2) 静止形 CVCF インバーター
0.1～400kVA



山洋電気(株)

東京都豊島区北大塚1-15-1
TEL 03(917)5151

周波計・バンドメータ 各種電力計 水晶温度計・圧力計 レーザパワーメータ

東京電波機器(株)

03-751-6171

通信設備用電源装置



信濃電気株式会社

(旧 原電気)

社長 新川 吉雄

本社 東京都文京区千石1-23-11

☎ (946) 1511(代)

エレクトロニクスで未来を拓く



- 映像システム
- 通信システム
- 計測システム
- 情報システム

エレクトロニクスの 夢を切り拓く

電波電子機器事業部
放送映像機器事業部
無線通信機器事業部



旭電機工業株式会社

〒242 神奈川県大和市上草柳350番地
TEL. (0462)63-4111(大代表)

川村精管工業株式会社

〒165 東京都中野区若宮3-15-8

☎ 03(338)2111

取締役社長 川村 太洋
富永 真澄 小野 雅司

〔主要取扱品〕

空中線、空中線同調装置
空中線整合装置車載用具

会員だより

特集



佐藤 正

拝啓 信友会益々ご繁栄をお慶び申し上げます。私もお蔭様で元気です。来年こそは懇親会に出席の予定です。一昨年満七十才の時も今年もお祝いを受ける予定のところビルマ巡拝やら校務の都合で欠席しました。もう校長も辞めました。隊友会の東海代表本部理事として時々上京します。郷友会理事憲法改正顧問などもしています。田舎ではどうしても引張り出される公算大、これも生甲斐につながります。

藤島 晋

在職中サブライマネージメント業務に従事していたことが大きな武器となり、企業内に経営合理化のためのコンピュータの

有効活用を展開しIBMのモデル・ユーザーとして導入、事例の報告などをおこない社内ではもっぱらコンピュータ・コーディネーターとしてBASICをいたづらして楽しんでおります。パソコンも六〇の手習いから。

平山 義夫

S51、胃切除のハンデーターをどうにか克服、日産系販売会社にて息をついてます。

隊友・県人会、校友会その他の知己と尊重親和を深めつつ、No2マイホームを建築移転を了り、2〜3年後の3男子学卒を機にNo3の仮遇を設定すべく夢と希望をかゝけてやっています。スクエアダンスとか甚も楽しんでます。蔵書も万程に積んだので、少しづつ読み始めようと考えてます。

大越 静一

五十七年十月より約二カ月間入院いたしました。現在では会社づつめの出来るようになりました。年をとるといふんなことがあります。OB会で皆様にお会い出来るのがなにより楽しみです。

有岡 正一

今年の夏は正にうだる様な夏でした。会員の皆様方には如何お過ごしかと謹んで暑中御見舞申し上げます。まだ休暇も取らずその内その内と思う内に来ましてしまいました。

一人去り二人逝き自然に順番を教えております。

会長はじめ幹事の方も御苦労様です。

油絵の先生を御紹介下さい。

岡田 剛

陸上自衛隊は退職しましたが引き続き防大に勤務していますので、セミ会員というところでしようか。防衛庁勤務歴は三十一を越えました。もう数少ない部類に属するのではないかと思います。然し自分としては何時の間にか過ぎ去ったような感じがします。

今若い防大生を教育して送り出していますが、彼等が皆様の後輩として陸上自衛隊を立派に支えてくれることを期待している次第です。

安藤 公一

信友会開設の頃は、矢口さんの御世話になりながら、会事務の御手伝いも出来ましたが、定年で父祖の地長崎に来て「去

るもの日々に疎く」なり、早や七年経ちました。西の果ての此の地には、信友会員の訪れも殆んどなく、五十二年頃井上秀夫大兄が、昨年の水害直後中島格教授が見えた位です。生れ、育ち、そして自衛隊勤務の大方を東京周辺で過した私にとっては「故郷は遠きに在りて憶うもの」であつた方が良かったかも知れません。

友は人生にとってかけがえない宝です。「近きに在りて」が望まれる此頃です。

小林 英宗

皆様お元気にてご活躍のことと拝察いたします。私が入会させて戴きましたから早や十年、総会で皆様とお逢ひ、ごきげんが何よりの楽しみです。また絆でもあり心強く、今年還暦を迎

えますが、今後ともご指導の程お願い申し上げます。

杉村 昭夫

最近の体調・心境（要推敲）

棒ヲ振り六年 秘に単段ヲ期ス

突然ノ腰痛ニ初心ヲ碎カレ

通勤電車ニ高爾夫誌ヲ読ム

又ハ

サビ パソコン 独り寂シク個人電脳ト遊ブ

吉原 義久

日記を探してみました。はじめての懇親会参加が四十六年十月二十八日(木)で、品川駅前パシフィックホテルでした。あの頃は人数が少なく、新会員に挨拶して廻ったように記憶していま

北村 和秋

す。今は懇親会の人数が多くなり、全員に挨拶などできませんが、これも会が盛大になったためで、喜ぶべきでしょう。

早いもので十三年、温室を出て戸惑いましたが何とか食べています。世の中のヤツカイ者視されぬ様、一生懸命です。

信友会の諸君、元気に健康に注意して頑張りましょう。

岩切 雅行

定年後、転職数回、現在は、旭川家政婦紹介所にシルバー産業の一員として元気に頑張っています。

鹿児島出身ですが、とうとう北国に住み付き、冬はスキー、夏は北海の釣りに明け暮れています。

鈴木七郎

私は55年1月退職後陸海空3自衛隊の定年並びに任期満了退職隊員の方々を三菱自動車デューラー400社へ迎え入れるため、11名の自衛隊OBと協力して全国の部隊を回り現在まで480名の方に入社して頂いております。

私は普通科でしたが、40年10月通校の戦術班長として着任、AOCの28期卒業MMから32期卒業までの戦術、戦史、課程主任等を担当させて頂きました。お蔭をもちまして大変多くの方々との良い出会いに恵まれ、在任中はもとより退職後の今日迄公私ともに、これらの方々の心温まる御指導御交誼を頂くことが出来ました。信友誌面をお借りして心から厚く御礼申し上げます。

青木改造

誌面を通じ皆様とお会い出来ます事を嬉しく思います。

退官後約十年第一の人生を歩んできましたが、当時と比べ社会の変遷は厳しく、又低成長時代に何となく配りに忙しい現状であります。小生現在中小企業に在職して居りますので社会情勢の影響を直接受け、無い頭を絞っても元が無い事を痛感しておる毎日であります。しかし健康だけは最後の砦でありますので御身大切に頑張つて居ります。

中山尚樹

偶感

還暦祝いの赤い帽子と赤い着物姿の写真を見るたびに思う!! 一人の男が歩みつけてきた六

〇年の歳月。「むなしさ」「かなしき」「くやしき」夢、希望喜び〇年からの出発だ!!、熟年の持つ経験と知識を磨いて自らのベストイヤーを作つてゆくことが必要と思う。

井上 巽

停年退職六日目、早いものです。次第に自衛隊の感覚も薄らいで、すっかり民間人になりました。野村不動産につとめて三年半、楽しく勤めております。いろいろな人と交り人生勉強になります。

廣嶋清彦

昭和51年春、62才鍼灸マッサージ業を開業、以来七カ年経ちました。学校を卒業すれば、どんな病気でも治せるものと思つていたら仲々どうして、勉強す

中島 恪

ればする程、自分の技術の未熟さが判つてきて、情けなくなる次第。治療院の景気は技術の未熟に加えて社会全般の不景気の影響もあつて、よくありません。業界は六年前の昭和53年に京都に鍼灸短大が開校、それが昨58年に4年大学に昇格、第一期生が卒業する昭和62年頃は業界はどうなっているでしょうか。

陸上自衛隊を昭和五年に退職して早や三年有余。

九州博多の地に第二の人生の場を求めつゝ……。玄海灘と立花山に囲まれた閑静な一角に、静かにそして力強く帆をふくらませ、これからも走りつづけるつもりです。新しい暮開けを告げるベルを鳴らしつゝ……。

小嶋 孝太郎

長らく御無沙汰致して居りました。

本年、中方通信群創隊二十周年を機会に再入会させて頂きました。

停退後今日まで、元気で第一線で仕事をしています。

来阪の際は御立寄り下さい。

大森 昇

六月二十一〜二十四日、訪韓同期金貞烈を囲み親交をあたためました。

友の国 栄ゆるを みたり
初夏の旅

篠原 利

二十八年から四十八年まで、二十年北海道地区補給処に勤務定年配置で最終所属は施設学校

なっています。

現在警備員で頑張っています。弓道と謡曲の修業に専念し、終生の楽しみにすべく修練しています。

衣笠勤二

御無沙汰しています。

私は、相変わらず元気で、ビル管理の仕事に従事しています。仕事を持ち続けることが、健康のため、最上と考える今日この頃です。

千葉久夫

退官以来早や五カ年、180度転換して現在も建築業界の営業担当として、日夜苦勞致して居ります。

当社は、全国三十三支店と一四一カ所に営業所をもつ太平住宅です。どうか全国の「信友

」の諸氏よ、建築には私に声をかけて下さい。立派なお仕事で必ずやご奉仕出来るものと確信もつて居ります。どうぞご利用下さい。おねがい申し上げます。

佐々木 次郎

会員の諸兄には、ますます御健勝で御活躍されていることと拝察申し上げます。

郷里へ帰つて十年に成りますが、やつとなにかにつけて郷里にとけ込むことができました。

現在、新居浜電気工事協同組合事務局長として、また富士火災海上保険事務所を開き努力をして居ります。なにかにつけて御指導を頂きたくお願い致します。

郷里では、信友会員にはお会いする事ありません。四国方

鈴木昌夫

「奉仕」

福沢諭吉翁曰く「世の中で一番尊い事は、人の為に奉仕して決して恩に着せない事です」と。吾既に六十才を超えるに至り全国自衛隊父兄会神奈川支部連合会副会長・旧軍戦没者慰霊等に自衛隊時代よりはるかに多忙の毎日を奉仕に明け暮れしています。

伊藤恵基

制服を脱いで早や六年。お蔭様で心身共に壮健。

一別以来の皆様と、再会の日を楽しみに、日々頑張つております。